

第2期 芦別市行財政改革の実施報告

平成21年10月

総務部 総務課

はじめに

【本市におけるこれまでの行財政改革の取り組みについて】

本市は、従来からも必要に応じて事務事業や組織機構の見直しなど行政改革を進めてきていますが、刻々と変化する社会情勢、地方分権の進展、脆弱な財政基盤に対応することとあわせて、行政改革の意識付けをさらに明確にするため、平成10年、市長を本部長とした「芦別市行政改革推進本部」を設置、また、行政改革に取り組むための基本的な指針となる「芦別市行財政改革大綱」を平成11年度に策定し、平成12年度以降における新たな行財政改革を推進していくこととしました。

具体的な取り組みとしては、平成12年度から平成14年度までの3年間の第1期の計画期間として設定し実施。続いて、平成16年度から平成20年度までの5年間の第2期として位置づけし行財政改革を推進してきたところです。

なお、これらの計画とは別に、緊急的かつ集中的な取り組みを進めるため、平成14年度から平成18年度までの期間設定において、アクションプログラムを策定し実施しています。

■本市における行財政改革取組の流れ

年 度	行 革 内 容	
平成11年度	・芦別市行財政改革大綱を策定	
平成12年度	・第1期行財政改革実施 (計画年度：平成12年度 ～14年度)	・アクションプログラム実施 (計画年度： 平成14年度～18年度)
平成13年度		
平成14年度		
平成15年度		
平成16年度	行財政改革市民会議	
平成17年度	・第2期行財政改革実施 (計画年度：平成16年度 ～20年度)	
平成18年度		
平成19年度		
平成20年度		

■第1期行財政改革実施計画（平成12年度～14年度）の取り組み結果

（平成15年度分を追加したもの。なお、アクションプログラム項目も当該計画に含む）

	計画上 の項目	追加 項目	計	実施状況			実施率 (%)	経費効果額 (単位：千円)
				実施済	検討	削除等		
事務事業の見直し	24	12	36	31	4	1	86.1	69,572
組織定員・管理機 構の見直し	10	6	16	14	1	1	87.5	77,474
給与の適正化	3	5	8	8			100.0	87,985
財政の健全化	6	17	23	18	5		78.3	386,785
公共施設設置及び 管理運営	1	13	14	10			71.4	24,591
団体事務局の移管	31		31	20			64.5	
計	75	53	128	101	10	2	78.9	646,407

ま と め

—第 2 期行財政改革実施計画の取り組み報告—

○実施計画の取り組み結果について

第 2 期行財政改革の取り組みは、平成 16 年度から平成 20 年度までの 5 年間を実施計画年度として設定し、同計画の策定にあたっては、市民からのアイデア等を生かした中で、市民とともに考える行財政運営方式に転換することを目指しました。

このことから、市民からの公募 4 人と学識経験者 6 人で組織する「行財政改革市民会議」を設置し、同会議において慎重に検討をいただき、最終的にまとめられた報告書を参考に協議を重ね、結果として 66 項目を実施計画項目に位置づけを行い、行革を推進していくこととしました。

計画期間では、延べ 19 回、行政改革推進本部会議を開催し、各年度の計画項目について検証を行い、進捗状況等を確認するとともに、計画の完全実施に意を用いながら計画推進を図ってきた結果、下表のとおり、66 項目中 56 項目を実施。また、4 項目が未実施（うち、3 項目が継続検討）となり、残余の 6 項目を未実施として削除した結果、93.3%の実施率となりました。

また、計画期間において見直し等を実施した項目全体にかかる取り組み効果額は、合計で 26 億 2,594 万円となっています。

■実施計画取り組み総括表

年 度	計画項目	実施項目	未実施項目	実施率 (%)
平成 16 年度	18	18	0	100.0
平成 17 年度	27	27	0	100.0
平成 18 年度	7	7	0	100.0
平成 19 年度	3	3	0	100.0
平成 20 年度	2	1	1	50.0
継 続 検 討	3	0	3	0.0
合 計	60	56	4	93.3
削 除 項 目	6	0	6	—

※詳細は資料参照

■実施結果に基づく効果額の内訳

分野別改革項目	算出対象項目	効果額 (千円)
事務事業の見直し	21	246,130
給与の見直し	5	902,623
財政の健全化等	31	1,424,247
公共施設の整備・管理運営	4	52,936
合 計	61	2,625,936

※算出対象項目は実施項目内の実施状況による項目数。詳細は資料参照

○総合評価について

実施計画の改革項目における目標達成度を測るための項目別総合評価については、下表のとおりで、評価対象57項目中、目標以上（AA）が8項目、目標どおり（A）が43項目、目標より下回る（B）は4項目、ほとんど進まなかった（C）が2項目となっています。

■総合評価取り組み結果表

分野別 改革項目	改革 項目数	総合評価 対象項目数	目標達成度別改革事項数			
			目標以上 (AA)	目標どおり (A)	目標より 下回る(B)	ほとんど進ま なかった(C)
事務事業の見直し	27	25	3	20	1	1
給与の見直し	5	5	2	2	1	0
財政の健全化等	23	22	3	17	1	1
公共施設の整備・ 管理運営	5	5	0	4	1	0
合計	60	57	8	43	4	2

※総合評価対象項目数（57）は、改革項目数（60）から継続検討項目数（3）を差し引きしたものです。また、一つの改革事項に複数の判断項目がある場合は、総合的な評価をして算出しています

○今後の行財政改革の位置づけについて

第2期行財政改革については、計画最終年度である平成20年度をもって、一応完了したところですが、平成20年度において、北海道備荒資金組合超過納付金が枯渇し、「財政再生団体」への転落が予想されるなど、本市を取り巻く財政環境はより深刻度を増す状況にあったことから、健全な行財政構造を確立するため、平成19年12月に「財政健全化計画」を策定したところです。

したがって、平成20年度をもって終了する「行財政改革実施計画」に代わり、行革の舞台は事実上、「財政健全化計画」に引き継がれており、今後においては、行財政改革実施計画における継続検討項目の追加や未実施項目の再検証、また、新たな事務事業の見直しなど、新規の見直し項目の追加などがある場合は、財政健全化計画において位置づけされることになっています。

なお、行財政改革実施計画の継続検討3項目と、同計画期間中に新たな項目として協議を重ねていた「単独施策事業の見直し」については、「財政健全化計画」において引き続き健全化項目の対象事項として検討していくこととしています。

取り組み結果の詳細等につきましては、下記資料において確認願います。

[資料]

- 第2期行財政改革実施計画の取組状況（総括）
- 第2期行財政改革実施計画の取組状況一覧表
- 芦別市行財政改革実施計画取組結果報告書（改革事項別）

資 料

- 第2期行財政改革実施計画の取組状況（総括） …………… 1
- 第2期行財政改革実施計画の取組状況一覧表 …………… 2
- 芦別市行財政改革実施計画取組結果報告書（改革事項別） …………… 4